



2017年度 年間聖句

そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分もなく、男も女もありません。
あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。

ガラテヤの信徒への手紙 3章28節

平和を祈る人たち

平和祈念式

“わたしを、あなたの平和の道具としてお使いください” (聖フランシスコ「平和を求め祈り」より)

8月6日、同窓会主催の平和祈念式が女学院中高ゲーンズホールにおいて開かれ、ご遺族・同窓生・教職員が集い、330名の同窓生と20名の教職員の追悼礼拝が行われました。祈念式の後、被爆60年に出版した証言集「平和を祈る人たちへ」の中から、今年は野村久子幹事(高女52専保2)の「きのこ雲の下で」を同窓会幹事が朗読しました。同窓会本部は毎年行っているこの証言集の朗読をとっても大切に思っています。被爆された同窓生の苦しみ、痛み、祈りを代弁していくことが私たち同窓会の大きな使命であると思うからです。

“平和をつくりだす人たちは、さいわいである”(マタイによる福音書5章9節)

若き日に聞いたこの聖句を今改めて心に刻みたいと思います。



小さな祈りの影絵展

毎年、8月5・6日に元安橋の袂には一つの光が灯っています。その暖かな光に照らされているのは広島市内の幼稚園・中学高校・大学、広島女学院同窓会、市民の有志などで制作した影絵です。

「小さな祈りの影絵展」は私たちの日常を描くことで、その中に小さな幸せがあり、それが平和なんだと気づいてほしい、という思いがこめられた平和活動です。被爆60年の2005年から、影絵作家浜崎ゆう子さんと同窓生で映画美術監督の部谷京子さんなどが中心となって始まりました。2011年からは学生中心で運営することになり今年で13回目を迎えました。広島女学院は中学高校・大学・ゲーンズ幼稚園そして同窓会が参加しています。

「毎年楽しみにしてるよ」「若い人がこういう活動を続けてくれるのはうれしい」「頑張ってるね」…。当日かけて頂く言葉を聞くと、この活動はみんなの心に響いているんだ、これからもこの影絵を通じて平和を考えるきっかけを提供したい、と思います。

2017年1月にはオバマ前大統領の母校ハワイのプナホウ学園で、36人の生徒みんなに「思いやり」をテーマに作品を制作してもらいました。ハワイならではの風景や広島を想って作った作品など素晴らしいものが完成しました。ヒロシマとパールハーバー、お互いの平和への想いを交換した時でした。

言葉だけでなく影絵と光を用いたこの活動は、どんな人にも響く平和の発信ではないでしょうか。これからも「小さな祈りの影絵展」の光は一人ひとりの小さな平和への思いを集め、大きな平和へとつないでいきます。

(広島女学院大学 国際教養学部4年 河濱萌子)



2016年
同窓会作品
「つなぐ」



2017年
同窓会作品
「産業奨励館」

クワイヤアイリス 結成20周年を迎えて



2017年7月広島流川教会での演奏会

クワイヤアイリスは、1997年1月に広島女学院大学クワイヤOGを中心に結成した合唱団です。そのきっかけとなったのは、当時、現役クワイヤの定期演奏会に賛助出演した二人のOGの「OG合唱団を作り、またみんなで歌いたい!」という熱い思いからでした。

発足当初は女学院関係の行事などで歌わせていただいていたが、多方面からも徐々に声をかけていただくようになり、今では教会での礼拝奉仕、他団体の演奏会賛助出演、平和祈念コンサートなど活動の場も広がりました。また練習会場の確保にも苦労しましたが、今では広島女学院のご厚意により安心して練習できるようになりました。

指揮者の小玉妙先生には、結成以来発声は勿論、音取りから関わっていただき、厳しくも心温かくご指導いただいています。メンバーは30代から70代と幅広い年齢層ですが、若き日にキリスト教を基盤とした教育を受け、広島女学院で学んだという事が、歌声にも表れているように思います。

私たちが得意とする曲は、学生の時から大切に歌い継いできた宗教曲や黒人霊歌ですが、加えてクワイヤアイリスの宝物となった「ヒロシマの河」があります。この曲は、小玉好行先生が四国五郎の詩に作曲されたもので、1992年、広島保育専門学校の学生によって初演されました。その後好行先生との出会いから、原爆をテーマにしたこの曲を歌わせていただくようになり、女学院の平和祈念行

事や平和記念公園の供養塔の前でも演奏しました。広島に住む私たちは原爆との関わりなしに過ごすことはできませんが、合唱を通してクワイヤアイリスなりに平和を訴えていかなければと思っています。結成して今年で20周年を迎え、これを記念して演奏会を開催します。宗教曲や黒人霊歌はもとより、今回は映画音楽にも挑戦します。もちろん「ヒロシマの河」も2016年に亡くなられた小玉好行先生の追悼ステージで演奏する予定です。同窓生の皆さまには、ぜひご来場いただき、クワイヤアイリスのハーモニーを楽しんでいただければ幸いです。

(下川真澄)

20周年記念コンサートのお知らせ

日時 2017年11月5日(日) 14:00開演(13:30開場)
場所 広島県民文化センターホール
料金 900円(全席自由)
お問い合わせ 同窓会館 TEL/FAX(082)221-1059



2016年 G7外相会合配偶者プログラムにて

ケネディ前駐日米大使からの手紙

2016年4月、広島女学院高校でG7外相会合配偶者プログラムが行われ、はじめにクワイヤアイリスが「You'll never walk alone」を歌いました。ぜひ「ヒロシマの河」もお聴きいただきたかったのですが叶いませんでした。そこで同窓会幹事岸田裕子さんを通してキャロライン・ケネディ前駐日米大使にCDをお送りしたところ、「この曲を聴くたびに日本のことを思い出すでしょう」という旨の温かい礼状をいただきました。クワイヤアイリスは平和を祈りこれからも「ヒロシマの河」を歌い、音楽による被爆証言を続けていきたいと思ひます。

(クワイヤアイリス代表 塩治みはる)



ルワンダで奏でた讚美歌312番

Letter
from
同窓生



姫野 敬子 さん (高28)

広島女学院同窓の皆さま、こんにちは。2016年夏、ルワンダで三週間のホームステイをして参りました。広島でルワンダ出身のマリールーズ永遠璃さんと出会い、ご一緒させて頂きました。ルワンダと言うと、史上最悪と言われた民族大虐殺の出来事で知られています。植民地統治方法の歪みをもたらした悲劇だと感じています。しかし、訪問した印象は緑豊かで朝夕涼しく、人々も温厚で優しく、とても魅力的な国でした。毎年4月には追悼週間があり、二度と悲劇を繰り返さない誓いを立てるそうです。広島の姿と重なり、祈り続ける事の大切さを思います。さてルーズさんは、あの内戦から日本に難を逃れた方です。奇跡的に生かされたルーズさんは、教育の大切さを痛感し首都キガリに学校を開設。私は趣味のバイオリンを携え学校を訪問致しました。子ども達は人懐っこくて元気一杯です。初めて見るバイオリンに興味津々です。そして女学院時代によく歌った讚美歌312番「いつくしみ深き」が皆を一つにしてくれたのです。田舎の診療所や民家や教会でバイオリンを弾き、人々と讚美歌を歌いました。人の輪が広がり、大合唱になった時は感動で涙が出そうでした。知らず知らずの内に培った母校での学びが、このような形で私の旅を豊かな出会いへと導いてくれました。心から女学院に感謝致します。水汲みが日課で、まだ助けの必要なルワンダ。どうぞ皆さま、ルワンダに心を留めて下さいますように。

Jogakuin Through My Eyes

John Robert Weil (English teacher)



リレー
エッセイ

I have been fortunate to have been able to teach at Jogakuin since 1995. Many things have changed and many things have stayed the same.

One thing that has not changed and that keeps me motivated year in and year out, is the students. They still have great dreams and visions of things they want to do and accomplish in the world. They still want to bring to the world front the atrocities that happened in Hiroshima in 1945. They still want to volunteer to help out whenever they can: in the school, community, domestically and internationally. The list goes on and on.

What has changed? Physical things like the buildings, access to modern technology, teachers and the uniform, for example. I still firmly believe that time spent here as a student is a perfect introduction to a life that will be fulfilling spiritually and mentally, as well as a life filled with compassion and a desire to know about the world.

1995年に着任してからずっと女学院で指導できることを幸せに思います。思い返せば変わったことも変わらないことも沢山あります。変わらないもの、それは私の教師魂にいつも火をつけてくれる生徒達です。女学院生にはいつもこの世界で達成したい大きな夢とビジョンがあります。1945年のヒロシマの惨禍を世界に向けて発信し続けています。そして自分の力を学校、地域、日本、世界で発揮したいという願いを持ち続けています。変わらないことは他にも沢山あるでしょう。変化したことといえば、校舎、最新テクノロジーの導入、先生方の顔ぶれ、制服など目に見えることだけかもしれません。もちろん女学院で過ごす日々が、心豊かで知的な人生の

基礎となり、世界に対する思いやりと知的的好奇心にあふれる人生を導く理想的なものである…という私の強い信念も変わることはありません。



生徒達の人気者
“Big John” こと
ワイル先生



支部会だより

福山地区会

5月13日(土)
福山ニューキャッスル ロジェ 参加者13名

昨年に続いて今年の地区会は本部より大矢会長をお迎えし、学院・同窓会の現状の報告を伺い、変動していく学院の姿を知ることができました。今回は、最年長の大城さんより手作りの素敵なイラストを全員にいただきました。皆様の近況を聞き元気なお姿を拝見し、年代の違いはあっても、話が盛り上がり同窓生としてのつながりを強く感じ、楽しい時間を過ごすことができました。次回の開催を楽しみにしております。

(土居田 美佐子/高25回)



岡山支部会

6月2日(金)
イーストタウン レストランシャル 参加者14名

今年も大矢会長、塩冶副会長のお二方をお迎えし、昨年大好評だったフレンチレストランでの和やかなひとときでした。今回は参加14名というこじんまりした会だったこともあり、いつにもましてアットホームな雰囲気でお互いをよく知り合うことができました。また、母校の歩みをまとめたDVDで歴史を改めて振り返るとともに、大矢会長から今の学校の様子や取り組みを詳しく伺って、皆さん母校への思いを新たにされたと思います。

(黒住 章子/高34)



賀茂地区会

6月3日(土)
東広島芸術文化ホール くらら 参加者41名

日本キリスト教団牧師の小田部美恵子先生の礼拝で「女性として今を生きる」というメッセージをいただきました。「これからの生きる指針をいただいたようです」「高校卒業以来の礼拝に感激です」「讃美歌を久しぶりに歌った」などの声があり、私たちは女学院の礼拝で育てられたんだと改めて実感いたしました。パンフルートの演奏、会食と楽しい時間を共に過ごし、来年も元気で会いましょうと散会いたしました。

(脇 幸子/高27)



佐賀支部会

6月3日(土)
KUREHA 参加者12名

本部より塩冶副会長が来佐され、福岡から8名と当支部会員3名が参加しました。副会長から来年度からの広島女学院大学学部改組の件やホームカミングデーの報告の後、尾崎れんげさんのハーブミニコンサートを行ないました。ハーブの演奏を間近に聴きながら、その柔らかな音色に時を忘れるほどでした。その後フランス料理を頂きながら歓談し皆さんの近況報告を聞きました。参加者から場所も良くハーブも素敵だったとの声が多く、これからも会を続けようとの気持ちを強くしました。

(諸隈 啓子/高16回)



関西ブロック合同同窓会兵庫支部会

6月14日(水)
宝塚ホテル 参加者101名

来賓の星野先生の「女学院には校訓は必要ない、なぜなら女学院の土台は聖書の教えと讃美歌であるから」、また「与えられた命は平等であり、命の尊さはこの世に生きる時間の長短で決まるものではない。神様からいただいた命を神様に支えられ存分に使えるよう生きていきましょう」とお話をいただきました。卒業生の岡邊さんの戦争・原爆投下により受け取れなかった卒業証書を女学院の計らいによって念願かなって受け取れたというお話も貴重なものでした。その後おしゃべりに夢中になってあっという間に時間は過ぎ、楽しいうちに終了しました。母校を振り返り、横だけでない縦の世代間交流もできるような会にますます発展していければと思います。

(舟川 仁美/高28文英10)



関東ブロック 原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」

7月8日(土)
銀座教会 参加者200名

今年の「夏雲の集い」では、俳優の山本学さんからお申し出があり、ギタリストの兼古隆先生との共演で「葉っぱのフレディ」と原爆詩を3篇朗読して下さることになりました。これまで同窓生のみで行なっていた礼拝を公開して、沢山の皆様にお越しいただきとうとう家族、友人にも声をかけました。本部から、塩冶副会長、金信幹事を迎えて、同窓生120名、外部80名の参加者でした。お陰で、沢山の皆様と平和や命のことを考えるひと時を共有することができました。

(白井 京子/高23文英5)



聖書は「生きる希望」について なんと語っているのでしょうか

旧約聖書「創世記からマラキ書」までの39書と、新約聖書「マタイによる福音書からヨハネの黙示録」までの27書全体を歴史的に位置づけ、内容を鳥瞰的に学ぶ5回のシリーズで、聖書が私たち一人ひとりに「生きる希望」をどのように語っているかを学び、最後の一日までいきいきと生き抜く糧を与えていただける研究会です。全回出席できなくても内容を追えるようにテキスト「聖書は何と語っているのでしょうか」が用意されていますので皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 第4回 2017年11月25日(土) 13:30~15:00
第5回 2018年 2月24日(土) 13:30~15:00

開催場所 広島女学院大学 人文館303教室

お問い合わせ・申込み 広島女学院同窓会 TEL/FAX 082-221-1059



寄付のお礼とお願い

同窓生の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、母校広島女学院は、昨年創立130周年を迎え、それを記念して皆様より募金を募っております。これは、教育研究施設・設備の充実、奨学金制度の充実、エンパワーメント・センターの充実等にあてられる予定です。同窓生の皆様からもご賛同をえて、すでに多くのご寄付を賜っております。ここに心より御礼申し上げます。また、2018年から改組による新しい広島女学院大学がスタートすることになり、母校である広島女学院が新たな一歩を踏み出すためには、まだまだ資金が不足しているのが現状でございます。この募金は2019年3月までの3年間で3億円を目標額としております。私たち同窓生が心一つにして、なお一層の応援をして参りたいと思っておりますので、是非さらなるご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



同窓会会長
大矢みどり

2017ホームカミングデー報告 ホームカミングデー実行委員長 松浦房枝

2017年度ホームカミングデーを4月22日、リーガロイヤルホテル広島にて開催致しました。324名の参加者を得、盛大な会となりました。湊先生の心打つ礼拝説教、星野校長先生の講演により、いつの時代にあっても私たち同窓生はよき師に恵まれ育まれてきた事に気づかされて感謝でした。また、マンドリン部OGで結成されたグルッポ・マンドリナータ・ミドリの演奏や被爆ヴァイオリンとピアノのデュオは好評で、楽しい一時が与えられました。「とても女学院らしいホームカミングデーでしたね」と多くの参加者の方々からお言葉を頂き、実行委員一同ホッと胸を撫で下ろし大変嬉しく思いました。このホームカミングデー開催にあたり御協力頂いた全ての方々へ心から感謝いたします。



学年幹事の集い



2017年6月10日(土) 中学チャペルに於いて、礼拝のあと大学クワイヤ聖歌隊のミニコンサートを聴き、来年度のホームカミングデー実行委員の引き継ぎがありました。

2018ホームカミングデー当番学年

高校18回 短大17回 大英18回
高校28回 短大27回 文英10回 文日10回
高校40回 短大39回 文英22回 文日22回

2017年度年間行事予定

10月 6日(金) 10月14日(土)	広島地区会 ANAクラウンプラザホテル広島 第3回 湊晶子院長・学長 聖書研究会 広島女学院大学 人文館303教室
10月18日(水)	中部ブロック会 名古屋マリOTTアソシアホテル 京都つる家
10月21日(土) 〃	福岡支部 ホテルニューオータニ博多 山口支部 中部地区会 小郡グランドホテル 雅
11月 3日(祝・金) 11月25日(土) 〃	同窓会バザー 第4回 湊晶子院長・学長 聖書研究会 広島女学院大学 人文館303教室 山口支部 西部地区会 小郡グランドホテル 雅
12月 2日(土) 〃 12月14日(木)	クリスマス会(関西ブロック)大阪東十三教会 クリスマス会(佐伯地区)佐伯区役所 集会室 クリスマス会(宗教委員会)同窓会館
2018年1月	高校 同窓会受入式
2月24日(土)	第5回 湊晶子院長・学長 聖書研究会 広島女学院大学 人文館303教室
3月	大学 同窓会受入式

同窓会バザーのお知らせ

日時 2017年11月3日(祝・金) 10:00~13:00
場所 ゲーンズホール前テント(バザー)
同窓会館(Café アイリス)

バザーのための献品を常時受け付けております。

お問い合わせ:同窓会館 TEL/FAX (082) 221-1059

召天

謹んで哀悼の意を表します。

山下紀子 短38	城好子(岡田) 高女45専庭3
高雄京子(中迫) 高29	雨宮桂子(岩本) 高6
越丸富美子(森脇) 高女45	山根和子(松本) 短25
外山美代子 高女46専庭4	戸板美津枝(藤野) 高3
富田一子(富田) 高5	浜田順子(清水) 高6
小林ひさ(辻) 高女40	藤居美枝子(篠崎) 高女47専庭5
高村弘子(山根) 高10大英10	難波愛子(藤原) 短2
森本真由美(仲本) 短26	佐渡喜代子(灘田) 短7
和田暁子(和田) 高17	佐々木幸子(任都栗) 高女48専庭6
中尾満美子 高39	中島義子(田中) 高7
山下妙子(土居) 高6短5	井上久美子(大坪) 生活文化学科2
宮 欽(伊藤) 高女52	守田妙子(土方) 高16
萩原百枝(房宗) 専家16	吉村哲子(川本) 高女55
田川恵子(久保川) 短21	野崎邦子(福田) 大英6
日貴美江(日貴) 高女52	伊藤美智子(原田) 専経1
道教久子(井上) 高女46	宮川恵子(田中) 短30
藤井周子(平井) 短23	福山郷子(友谷) 高10
吉川恵子 文日26	鎌田篤子(鏑) 高22文日4
土田園子(西野) 高4短3	澄川英子(澄川) 専庭3
小酒井美智子(河野) 高女48	田丸富久枝(大塚) 高18
脇美枝子(富永) 専庭7	中村秩子(西本) 高18
加藤次枝(永原) 高女41	荒井幸子(神野) 高18
新開綾子(日下) 高10	砂原佳子(新田) 高18短17
小倉綾子(松本) 高6	堀向美恵(津川) 高23文英5
横田千歳 高女51	西村珠美(木村) 高28
豊島貴久恵(伊藤) 高5	藤井緑(朝家) 専被4
山口智寿慧(大下) 高女44	宮井悦子(加藤) 高16

2016.12月から2017.7月までにご逝去のお知らせをいただいた方々です。(敬称略)

2017年度全国代表者会議

2017年度全国代表者会議が4月21日(金)午前11時45分より中学チャペルで開催された。大矢会長の開会挨拶後、礼拝、永眠者への黙祷。出席者はブロック長、支部長、地区長、本部幹事、事務局の42名。議事は書記が2016年度事業報告を、会計が2016年度の会計報告を行い承認。2017年度事業報告を書記が、2017年度予算を会計が提案し、それぞれ承認された。

本部幹事・支部長交代

本部幹事 新任 脇 幸子 高27
新任 上田 知子 高29・文英11
新任 佐々木麻樹 高36

兵庫支部長 新任 舟川 仁美 高28・文英10 …… 退任 對川美香子

2016年度 収支決算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで 広島女学院同窓会 2017年3月31日作成(単位:円)

科目	2016年度予算	決算(2017.3.14)
同窓会会費	8,220,000	8,204,460
大学 15,000円×327-540	4,950,000	4,904,460
高校 15,000円×219	3,270,000	3,285,000
会友	0	15,000
事業収入	1,000,000	1,804,995
グッズ販売	600,000	1,386,758
バザー	400,000	418,237
雑収入	30,000	38,528
受取利息	0	386
寄付金	0	767,322
弁済金	300,000	2,755,891
前年度より繰越金	17,988,283	17,988,283
合計	27,538,283	31,559,865

科目	2016年度予算	決算(2017.3.14)
事務費	2,210,000	1,561,286
消耗品費	180,000	94,511
備品費	1,000,000	436,775
人件費	1,030,000	1,030,000
事業費	3,695,000	3,456,242
全国代表者会議費	800,000	746,392
宗教委員会費	110,000	102,250
事業委員会費	1,105,000	1,100,797
バザー委員会費	100,000	63,102
同窓会報編集委員会費	1,300,000	1,179,360
学年幹事・名簿委員会費	180,000	164,341
ホームカミングデー補助費	100,000	100,000
母校支援費	1,900,000	1,805,532
アイリスセンター維持費	600,000	600,000
ゲーンズ奨学金	800,000	800,000
卒業証書カバー補助	500,000	405,532
通信費	190,000	153,248
電話料	120,000	106,198
郵税	70,000	47,050
旅費交通費	600,000	615,220
同窓会館運営費	165,000	140,426
水道・光熱費	140,000	134,550
消耗品等	25,000	5,876
慶弔費	700,000	559,320
雑費	400,000	312,776
予備費	200,000	0
創立130周年記念行事費	500,000	312,010
創立130周年記念募金	1,000,000	1,000,000
平和祈念式口座へ繰入	50,000	50,000
基本金引当資産へ繰入	3,000,000	3,000,000
(小計)	14,610,000	12,966,060
次年度へ繰越	12,928,283	18,593,805
合計	27,538,283	31,559,865



編集後記

今号の花あやめは「平和」をテーマとして編集しました。折りしも、思いがけないビッグニュースが飛び込んできました。7月7日、アメリカのニューヨークの国連本部で核兵器を禁止する歴史的な条約が採択されたのです。カナダ在住のサーロー節子さん(高女56大英2)は力強い演説をされ、場内から大きな拍手を浴びる様子がテレビ・新聞で報道されました。また、ライブワークとして核軍縮に取り組んでいる国連職員荊尾遥さん(高53)もその歴史的瞬間に立ち合われました。日本国内外で地道に平和を祈り、活動を続けて来られた成果を見る思いでした。女学院生の平和への歩みが途絶えることはないかと強く確信した夏でした。